

大学番号：595

[平成23年度設置]

計画の区分：大学新設

認可

日本映画大学 映画学部 映画学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 神奈川映像学園
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名（学）神奈川映像学園事務局

職名・氏名 総務部長 ^{シミズ} 清水 ^{ヒトシ} 等

電話番号 044-951-2511

（夜間） 044-951-2511

F A X 044-951-2681

e-mail shimizu@eiga.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 神奈川映像学園

(2) 大学名

日本映画大学

(3) 大学の位置

(本部・新百合ヶ丘校舎)

〒215-0004

神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-30

(白山校舎)

〒215-0014

神奈川県川崎市麻生区白山2-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(サキ マシ) 佐々木 正路 (平成19年10月18日)		
学長	(イリ タオ) 飯利 忠男 (平成23年4月1日)		
学部長	(タカシ セリ) 高橋 世織 (平成23年4月1日)		
学科長等	(イムラ ダイカ) 今村 大介 (平成23年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
映画学部 映画学科 学士(映画)	4年	140人	2年次 20人 3年次 10人	640人	平成23年4月に1年次 平成24年4月に2年次編入 平成25年4月に3年次編入 開設

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	140 (-) [若干名]	-	() []	1.18倍								
志願者数	366 (-) [13]	-	() []									
受験者数	354 (-) [13]	-	() []									
合格者数	235 (-) [13]	-	() []									
B 入学者数	166 (-) [11]	-	() []									
入学定員超過率 B/A	1.18											

- (注) ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[11] 166	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[11] 166		[]		[]		[]		

(注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日) *5月1日現在	計 [-] 0人	(累積)計 [-] 166人	0.00%
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 166人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			
平成25年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<映画学部 映画学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任	備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基幹	スタートアップ演習	1前	4			13	8	0 ↓					濱口文幸講師死亡のため、講師0人となった。(23)
	人間総合研究	1前	8			3	2			1			教育環境を向上するため、技術指導を補助する助手を追加。(23)
A群	日本文化論	1～4前		2		1							
	日本伝統音楽概論	1～4前		2							1		
	能楽概論	1～4前		2							1		
	日本政治思想史	1～4前		2							1		
	批評論	2～4前		2			1						
	美術史	2～4通		4							1		
	サブ・カルチャー論	1～4後		2			2						
	哲学	1～4後		2			1						
	絵巻特論	2～4後		2							1		
	演劇WS I	2～4後		2		2							
	物語WS	2～4後		2			1						
B群	フェミニズムの視点	2～4後		2		1							
	演劇WS II	3～4後		2		1							
	触覚論	3～4後		2		1	1						
	情報社会論	1～2前		2			1						
	文章表現論	1～2前		2			1						
	フィールド調査方法論	1～2前		2			1						
	文化研究方法論	1～2前		2		1							
	文化人類学	1～2前		2							1		
	韓国語	1～4前		2			1						
	英語 I	1～4前		2		1							
	日本語	1～4前		2		1							
C群	情報メディア論	1～4後		2			1						
	英語 II	1～4後		2		1							
	中国語	1～4後		2							1		
	コミュニケーション	2～4後		2		3							
	翻訳概論	3～4後		2		1							
	表象文化論	1～2前		2		2	3						
	国際理解基礎 I	1～2前		2		1							
D群	著作権入門	1～4前		2							1		
	現代中国の生活文化事情	1～4前		2							1		
	社会学入門	1～2後		2			1						
	民俗学	1～4後		2							1		
	朝鮮半島の近現代社会史	3～4後		2			1						
	死生観のコスモロジー	3～4後		2		3					1		
	ジャーナリズム論	3～4後		2			1						
	日本へのまなざし	3～4後		2		3	2						
D群	地球環境倫理学	1～4前		2							1		
	都市・建築空間論	1～4後 1～4前		2							1		授業期間は夏期集中。成績は後期に算入。
	自然災害学	1～4後 1～4前		2							1		授業期間は夏期集中。成績は後期に算入。
	デジタル映像技術概論	1～4後		2				4					濱口文幸講師死亡のため、担当者変更。後任未定。(23)
	科学技術文明論	1～4後		2							1		
	森林環境学	1～4後		2							1		
	音響論	3～4後		2		2							
環境思想	3～4後		2		2					2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任	備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養科目	E群	身体文化論	2~4前 1~2前	2		1							学生の履修機会を増やすため、配当年次を変更。(23)	
		精神医学入門	1~4前	2							1			
		教育福祉制度論	1~4前	2								1		
		キャリア・サポートⅠ	2前	2								1		
		キャリア・サポートⅡ	3前	2								1		
		キャリア・サポートⅢ	4前	2								1		
		認知心理学	1~4後	2								1		
		体育	2~4後	1								1		
		インターンシップⅠ	3~4後	2			1	1						教育環境を向上するため、インターンシップ受け入れ経験の豊富な教員を追加。(23) 担当：石坂健治(教授) 平成23年8月 提出予定
インターンシップⅡ	3~4後	4			1	1						教育環境を向上するため、インターンシップ受け入れ経験の豊富な教員を追加。(23) 担当：石坂健治(教授) 平成23年8月 提出予定		
基礎科目	創作系	脚本基礎演習	1前	2		1	1							
		長編シナリオ演習Ⅰ	1後	2		1	1							
		長編シナリオ演習Ⅱ	2前	2		1	1							
		長編シナリオ制作	2前 1後	4		1	1						授業期間は春期休暇期間。成績は2年前期に算入。	
		映画制作基礎演習	1後	8		2					1		教育環境を向上するため、技術指導を補助する助手を追加。(23)	
		映画制作特別演習	1後	4 10	10	4 2	1							編入学生のみを対象とする選択必修科目である。必修と記載していた誤りを修正した。(23) 教育環境を向上するため、撮影・録音・編集の技術を専門とする教員を追加。(23) 担当：川上皓市(教授)・弦巻裕(教授)・阿部浩英(准教授) 平成23年8月 提出予定
		ビデオ・デジタル技術基礎演習	2前	2					4					濱口文幸講師死亡のため、担当者変更。後任未定。(23)
映画美術論	2前	2		1										
基礎科目	理論系	映画史概論	1~2後 1後	2		1							学生の履修機会を増やすため、配当年次を変更。(23)	
		日本映画史	2前	2		1								
		イメージの図像学	1後	2		1								
		映画ヒーロー論	1後	2		1	3							
		映像とことば	2前	2		1	2							
		映画と演劇	1後	2		2								
		フィルム・アーカイブ学	1後	2		1								
		映画流通論	2前	2		1								
		英米文学精読	2前	2		1								
		パフォーマンス概論	2前	2		1								
		芸能概論	2前	2		1								
		コンテンツ文化史	2前	2			1							
国際理解基礎Ⅱ	2前	2		1										
専門基礎科目	創作系	脚本専門基礎講義	2前	2		1	1							
		演出専門基礎講義	2前	2		3	1							
		撮影照明専門基礎演習	2前	2		1								
		録音専門基礎演習	2前	2		1				1			教育環境を向上するため、技術指導を補助する助手を追加。(23)	
	編集専門基礎演習	2前	2			1								
	ドキュメンタリー専門基礎演習	2前	2		1									
	理論系	理論A専門基礎講義	2前	2		3	2							
理論B専門基礎講義		2前	2		3	3								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任	備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	創作系	卒業制作Ⅰ	4前	8		7	3	+		2		濱口文幸講師死亡のため、担当者変更。後任未定。技術指導を補助する助手を追加。(23)	
		卒業制作Ⅱ	4後	4		7	3	+		2		濱口文幸講師死亡のため、担当者変更。後任未定。技術指導を補助する助手を追加。(23)	
	理論系	卒業論文・プロジェクトⅠ	4前	8		6	5						
		卒業論文・プロジェクトⅡ	4後	4		6	5						
資格科目	博物館 社教	生涯学習概論	3~4通		4						1		
	博物館	教育学概論	未開講 1~3前		2							1	開講せず(23)。平成23年度中に新カリキュラムでの資格課程認定の申請を行うため、資格科目は全て平成24年度以降の開講とした。
		博物館学	2~3通		4							1	
		博物館資料論	2~3後		2							1	
		博物館実習	4後		3							1	
	社教	社会教育演習および実習	3~4通		4							1	
		社会教育計画	3~4通		4							1	
		社会教育特講Ⅰ	3~4通		4							1	
		社会教育特講Ⅱ	3~4通		4							1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
9科目	129科目	0科目	138科目	8科目	130科目	0科目	138科目	
				[△1]	[1]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	教育学概論	2	1~3前		自由	この科目は学芸員養成課程の「博物館に関する科目」のひとつである。平成23年度中に新カリキュラムでの資格課程認定の申請を行うため、他の資格科目とあわせて平成24年度以降の開講とした。平成24年度以降、配当年次を「2~3後」に変更して開講する。

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 学生の混乱を避けるために、新カリキュラムでの資格課程認定以降に履修を勧める方が良いと判断した。なお、資格科目の履修は、必修科目が多く大学に不慣れな1年生には負担が大きいことから、「教育学概論」以外の資格科目はすべて2年次以降の配当としている。「教育学概論」もこれにあわせることで、2年次からの資格取得というカリキュラムが明瞭になると考えている。</p> <p>「学生への周知方法」 履修登録ガイダンスおよび、学生便覧で周知した。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	1	=	0.01
認可時の計画の授業科目数の計	147		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	教育学概論	2	1~3前		自由	この科目は学芸員養成課程の「博物館に関する科目」のひとつである。 平成23年度中に新カリキュラムでの資格課程認定の申請を行うため、他の資格科目とあわせて平成24年度以降の開講とした。 平成24年度以降、配当年次を「2~3後」に変更して開講する。

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 学生の混乱を避けるために、新カリキュラムでの資格課程認定以降に履修を勧める方が良いと判断した。なお、資格科目の履修は、必修科目が多く大学に不慣れな1年生には負担が大きいことから、「教育学概論」以外の資格科目はすべて2年次以降の配当としている。「教育学概論」もこれにあわせることで、2年次からの資格取得というカリキュラムが明瞭になると考えている。</p> <p>「学生への周知方法」 履修登録ガイダンスおよび、学生便覧で周知した。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	1	=	0.01
認可時の計画の授業科目数の計	147		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積 17,462.44㎡ 借用期間 平成22年4月から 平成25年3月 不算入用地 7,259.00㎡			
	校舎敷地	3,064.72㎡	0㎡	0㎡	3,064.72㎡				
	運動場用地	5,660.00㎡	0㎡	0㎡	5,660.00㎡				
	小 計	8,724.72㎡	0㎡	0㎡	8,724.72㎡				
	そ の 他	10,116.77㎡	0㎡	0㎡	10,116.77㎡				
	合 計	18,841.49㎡	0㎡	0㎡	18,841.49㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		7,879.78㎡ (7,879.78㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	7,879.78㎡ (7,879.78㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	語学学習施設は 情報処理学習施設を 兼ねる			
	40室	11室	0室	0室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	映画学部 映画学科			5 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書費には、 電子ジャーナル ・データベースの 整備費（運用コスト を含む）を含む	
	映画学部	7,000〔300〕 (4,800〔100〕)	35〔5〕 (35〔5〕)	10〔7〕 (10〔7〕)	719 700 (519 500)	2 2	0 0		
	計	7,000〔300〕 (7,000〔100〕)	35〔5〕 (35〔5〕)	10〔7〕 (10〔7〕)	719 700 (519 500)	2 2	0 0		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	290.50㎡		72		31,491				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	665.68㎡		該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	100千円	100千円	図書購入費	23,400千円	5,100千円	— 千円	
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	138,838千円 156,616千円	81,598千円 68,292千円	— 千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,880千円	1,580千円	1,580千円	1,580千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		該 当 な し							

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

該当なし

大学の名称										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
大学の名称										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<映画学部 映画学科>

(1) 担当教員表

専任・兼任・兼任の別	職名	認可時の計画			専任・兼任・兼任の別	職名	変更状況			備考
		氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名			氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	加勢 かつ川崎 賢子 (54)	平成25年4月	スタートアップ演習 文化研究方法論 コミュニケーション 芸術概論 理論B専門基礎講義 文芸精読 宝塚学 物語論 卒業論文・プロジェクトI 卒業論文・プロジェクトII	専	教授	加勢 かつ川崎 賢子 (54)	平成24年4月	スタートアップ演習 文化研究方法論 コミュニケーション 芸術概論 理論B専門基礎講義 文芸精読 宝塚学 物語論 卒業論文・プロジェクトI 卒業論文・プロジェクトII	教育・研究環境を向上するため、就任年度を繰り上げた。(23)
専	教授	伊藤 かつ石坂 健治 (50)	平成24年4月	スタートアップ演習 表象文化論 コミュニケーション 日本へのまなざし フィルム・アーカイヴ学 映画流通論 理論B専門基礎講義 アジア映画史 ドキュメンタリー映画史 上映企画WS 卒業論文・プロジェクトI 卒業論文・プロジェクトII	専	教授	伊藤 かつ石坂 健治 (50)	平成24年4月	スタートアップ演習 表象文化論 コミュニケーション 日本へのまなざし フィルム・アーカイヴ学 映画流通論 理論B専門基礎講義 アジア映画史 ドキュメンタリー映画史 上映企画WS 卒業論文・プロジェクトI 卒業論文・プロジェクトII インターンシップI インターンシップII 合同制作B	教育環境を向上するため、インターンシップ受入経験豊富な石坂教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定 教育環境を向上するため、創作系教員に加えて、ドキュメンタリー映画研究を専門とする石坂教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定
専	准教授	加藤 かつ田辺 秋守 (50)	平成25年4月	スタートアップ演習 人間総合研究 表象文化論 哲学 映画ヒーロー論 理論B専門基礎講義 映画理論A 映画イメージ論 映画ジャンル論B 比較映画論 物語論 状況論 卒業論文・プロジェクトI 卒業論文・プロジェクトII	専	准教授	加藤 かつ田辺 秋守 (50)	平成23年4月	スタートアップ演習 人間総合研究 表象文化論 哲学 映画ヒーロー論 理論B専門基礎講義 映画理論A 映画イメージ論 映画ジャンル論B 比較映画論 物語論 状況論 卒業論文・プロジェクトI 卒業論文・プロジェクトII	1年次、2年次担当の担当科目が多いため、就任年度を繰り上げた。(23)
専	教授	林 かつ緒方 明 (51)	平成25年4月	スタートアップ演習 演出専門基礎講義 脚本演出専門演習I-A 卒業制作I 卒業制作II	専	教授	林 かつ緒方 明 (51)	平成25年4月	スタートアップ演習 演出専門基礎講義 脚本演出専門演習I-A 卒業制作I 卒業制作II 脚本演出専門演習II 合同制作A	教育環境を向上するため、映画演出専門の緒方教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定 教育環境を向上するため、映画演出専門の緒方教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定
専	教授	加藤 かつ川上 皓市 (64)	平成23年4月	スタートアップ演習 撮影照明専門基礎演習 技術合同専門演習 撮影照明専門演習 卒業制作I 卒業制作II	専	教授	加藤 かつ川上 皓市 (64)	平成23年4月	スタートアップ演習 撮影照明専門基礎演習 技術合同専門演習 撮影照明専門演習 卒業制作I 卒業制作II 映画制作特別演習 合同制作A	教育環境を向上するため、映画撮影専門の川上教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定 教育環境を向上するため、映画撮影専門の川上教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定
専	教授	加藤 かつ張巻 裕 (60)	平成24年4月	スタートアップ演習 音響論 録音専門基礎演習 技術合同専門演習 録音専門演習 卒業制作I 卒業制作II	専	教授	加藤 かつ張巻 裕 (60)	平成24年4月	スタートアップ演習 音響論 録音専門基礎演習 技術合同専門演習 録音専門演習 卒業制作I 卒業制作II 映画制作特別演習 合同制作A	教育環境を向上するため、映画録音専門の張巻教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定 教育環境を向上するため、映画録音専門の張巻教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定

専任・兼任・兼任の別	認可時の計画				変更状況				備考	
	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	准教授	新ノ 久村 細野 辰典 (58)	平成25年4月	スタートアップ演習 映画ヒーロー論 演出専門基礎講義 脚本演出専門演習Ⅱ 卒業制作Ⅰ 卒業制作Ⅱ	専任	准教授	新ノ 久村 細野 辰典 (58)	平成24年4月	スタートアップ演習 映画ヒーロー論 演出専門基礎講義 脚本演出専門演習Ⅱ 卒業制作Ⅰ 卒業制作Ⅱ 脚本演出専門演習Ⅰ-A 合同制作A	教育・研究環境を向上するため、就任年度を繰り上げた。(23) 教育環境を向上するため、映画演出専門の細野准教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定 教育環境を向上するため、映画演出専門の細野准教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定
専任	准教授	サトウ ヒサ子 齋藤 久志 (51)	平成23年4月	スタートアップ演習 脚本基礎演習 長編シナリオ演習Ⅰ 長編シナリオ演習Ⅱ 長編シナリオ制作 映像とことば 脚本専門基礎講義 脚本専門演習Ⅰ-1 脚本専門演習Ⅰ-2 脚本専門演習Ⅱ 脚本演出専門演習Ⅰ-B 卒業制作Ⅰ 卒業制作Ⅱ	専任	准教授	サトウ ヒサ子 齋藤 久志 (51)	平成24年4月	スタートアップ演習 脚本基礎演習 長編シナリオ演習Ⅰ 長編シナリオ演習Ⅱ 長編シナリオ制作 映像とことば 脚本専門基礎講義 脚本専門演習Ⅰ-1 脚本専門演習Ⅰ-2 脚本専門演習Ⅱ 脚本演出専門演習Ⅰ-B 卒業制作Ⅰ 卒業制作Ⅱ 合同制作A	平成23年度は日本映画学校で専任として授業を担当する必要が生じたため、就任年度を繰り下げた。(23) 教育環境を向上するため、映画脚本専門の齋藤准教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定
専任	准教授	アサヒ ヒロシ 阿部 浩英 (50)	平成24年4月	スタートアップ演習 編集専門基礎演習 技術合同専門演習 編集専門演習 比較映画論 卒業制作Ⅰ 卒業制作Ⅱ	専任	准教授	アサヒ ヒロシ 阿部 浩英 (50)	平成24年4月	スタートアップ演習 編集専門基礎演習 技術合同専門演習 編集専門演習 比較映画論 卒業制作Ⅰ 卒業制作Ⅱ 映画制作特別演習 合同制作A	教育環境を向上するため、映画編集専門の阿部准教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定 教育環境を向上するため、映画編集専門の阿部准教授を担当教員として追加。(23) 平成23年8月 変更書提出予定
専任	講師	アサヒ フミキ 濱口 文幸 (50)	平成25年4月	スタートアップ演習 デジタル映像技術概論 ビデオ・デジタル技術基礎演習 卒業制作Ⅰ 卒業制作Ⅱ			後任未定		スタートアップ演習 デジタル映像技術概論 ビデオ・デジタル技術基礎演習 卒業制作Ⅰ 卒業制作Ⅱ	平成23年4月、濱口文幸講師死亡。(23) 後任未定。
兼任	講師	ムサシ 静二 村尾 静二 (41)	平成24年4月	文化人類学 死生観のコスモロジー 映像人類学	兼任	講師	ムサシ 静二 村尾 静二 (41)	平成23年4月	文化人類学 死生観のコスモロジー 映像人類学	「文化人類学」が1年～2年配当科目であるため、就任年度を繰り上げた。(23)
兼任	講師	マコト 音子 間野 音子 (51)	平成23年4月	教育学概論 社会教育演習および実習 社会教育特講Ⅰ	兼任	講師	マコト 音子 間野 音子 (51)	平成24年4月	教育学概論 社会教育演習および実習 社会教育特講Ⅰ	「教育学概論」を23年度開講せずとしたため、就任が遅延した。(23)
兼任	講師	マサト 聡子 松本 聡子 (34)	平成23年4月	精神医学入門	兼任	講師	マサト 聡子 松本 聡子 (34)	平成23年4月	精神医学入門	平成23年1月、松本聡子兼任講師就任辞退のため、担当教員を磯谷悠子兼任講師に変更。(23)

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
14	8	1	0	23	2	14	8	0	0	22	2	
(8)	(3)	(0)	(0)	(11)	(2)	[]	[]	[△1]	[]	[]	[]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	講師	濱口 文幸	平成23年4月急逝のため。

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 現在、慎重に後任者の人選中である。</p> <p>「学生への周知方法」 後任者が決定するまでは大学ホームページ上に「講師未定」と掲載する。決定次第、速やかに後任者の情報を掲載する。</p>

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してくださ

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (22年10月)	設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	設置認可された設置計画の確実な履行を行っているところである。 教育研究活動のより一層の向上を図るため、学内に委員会等を設置し鋭意検討を始めている。	

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<映画学部 映画学科>

(1) 設置計画変更事項等

該当なし

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

・教務委員会

委員長：伊津野知多准教授

委員：今村大介教授、大友りお教授、熊岡路矢教授、中原俊弘教授、田辺秋守准教授

・学生委員会

委員長：川上皓市教授

委員：大友りお教授、熊岡路矢教授、伊津野知多准教授、大澤信亮准教授

・入試委員会

委員長：大友りお教授

委員：荒井晴彦教授、伊津野知多准教授、大澤信亮准教授、田辺秋守准教授

・総務委員会

委員長：中原俊弘教授

委員：荒井晴彦教授、今村大介教授、大友りお教授、川上皓市教授、伊津野知多准教授

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・教務委員会： 4/14（木）15:30 第1回委員会開催

出席：伊津野、大友、熊岡、中原、田辺

欠席：今村

・学生委員会： 4/14（木）13:30 第1回委員会開催

出席：川上、大友、熊岡、伊津野

欠席：大澤

・入試委員会： 4/15（金）13:00 第1回委員会開催

出席：大友、荒井、大澤、田辺

欠席：伊津野

c 委員会の審議事項等

・教務委員会： 平成23年度入学者の既修得単位の認定について

・学生委員会： 避難訓練実施について、奨学金希望者選考について

・入試委員会： 入試日程について、指定校推薦制の採用について

② 実施状況

a 実施内容

今後、下記のような取組を進める予定である。

- ・総務委員会の中にFD委員会を置き、教員の資質の維持向上および授業内容や方法の改善についての検討を行う。
- ・授業評価アンケートの実施。
- ・教員相互の授業参観。
- ・授業内容や授業方法についての情報交換を行う研究会の定期的な開催。

b 実施方法

- ・授業評価アンケートは、平成23年度前期授業終了時より実施予定。
- ・教員相互の授業参観は、希望に応じて随時実施予定。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・未実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・未実施。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

平成24年度4月以降に実施予定

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有) ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年 8月1日予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する) ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス 未定
(http://www.)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。